

## ○聖籠町における環境マネジメントシステムについて

聖籠町では事業活動を通じた資源の消費、温室効果ガスや廃棄物排出等の環境に対して与える負荷を低減し、地域の先導的な役割を担うため、平成16年1月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し16年間運用してきました。

16年間の運用により、光熱水費の使用量削減や役場庁舎内における3Rの徹底、役場の事業活動における環境に及ぼす影響を予防、低減する取組を計画的に行う等の成果を得ることが出来ました。また、環境マネジメントシステムについて町役場組織内部に浸透し定着させることが出来たことから、令和2年1月26日をもって外部認証機関によるISO認証を返上し、返上後はこれまでに培ったノウハウを生かしてISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステムを活用した環境行政を行うこととしました。

(環境マネジメントシステムのあゆみ)

年月	事項
平成14年 4月	ISO14001認証取得の取組をスタート
平成15年 3月	環境基本計画制定
〃	聖籠エコ・エフィス・チャレンジプラン策定
平成15年11月	ISO14001認証の登録審査
平成16年 1月	ISO14001認証取得
平成17年 6月	ISO14001認証2004年版移行
平成19年 1月	ISO14001再認証
平成20年12月	環境基本計画策定(見直し)
平成22年 1月	ISO14001再認証
平成25年 1月	ISO14001再認証
平成25年 3月	環境基本計画策定(改訂)
平成28年 1月	ISO14001再認証
平成30年 3月	環境基本計画策定(見直し)
平成31年 1月	ISO14001再認証
令和 2年 1月	ISO14001認証返上

## ※※ 環境ISOについて ※※

### ・ISOとは

もしネジの寸法や写真のフィルムの感度が国ごとに違っていたらどうでしょう？ある国の機械にはその国のネジしか使えない、フィルムの感度が国ごとにバラバラでは不便ではないでしょうかありませんね。

今は、こうしたことが起こらないように、世界共通のルールが作られています。これが「国際標準化」です。

ISO(国際標準化機構:International Organization for Standardization)は、世界共通の規格・基準を設定するために作られた、各国の代表的標準化機関からなる国際標準化機関です。

「民間自身が民間のために民間規格を作る機関」として1947年に設立されました。現在、本部はスイスのジュネーブにあります。

### ・環境ISOとは

ISOで作られた「環境マネジメントシステム(環境を管理・改善する仕組み)」の国際規格で、正式にはISO14001といえます。

ISO14001では、その組織が環境に影響を及ぼす要素を洗い出し、それをPDCA(計画ー実施ーチェックー見直し)サイクルと呼ばれる一連の流れにしたがって継続的に改善していきます。

14001というのは規格の番号で、環境に関する規格には14000番台があてられており、環境マネジメントシステムの規格である14001の他にも14020(環境ラベル)、14030(環境パフォーマンス評価)などの規格があります。